

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2020.3) 令和元年度:31-34.

当手術部における手術安全チェックリストの現状と課題

山近 真実

## 当手術部における手術安全チェックリストの現状と課題

旭川医科大学病院 手術部 山近真実

当手術部は、2012年9月より手術の安全を確保するための手順として、手術安全チェックリストの運用を開始した。手術安全チェック(以下チェックとする)の目的は、周術期の有害事象を低減させることである。しかし、これを上手く活用できなければ目的は果たせない。当院の現状における良い面としては、チェックを実施することが常となっていることである。一方で課題は、実施者やチェックを実施する状況、手術チーム間での協力不足により、チェックの精度が異なることがあった。さらにチェック項目により、確認の精度にばらつきが見られていた。これらを改善させるため、各チェック項目が確実にチェックされるようにチェック方法に関する行動指針を出すこと、手術チーム全員に対しチェック場面の評価とフィードバック、映像による普及啓発を予定している。

手術チームメンバーが、一旦手を止めて、手術安全チェックというツールを用いて、患者に関する重要な情報を共有することができれば、本来の目的は達成される。そのためには、手術安全チェックの定期的な保守・点検および普及啓発が必要である。

# 当手術部における 手術安全チェックリストの 現状と課題

旭川医科大学病院手術部ナースステーション  
旭川医科大学病院手術部<sup>1)</sup>

山近真実 平田 哲<sup>1)</sup>

# 日本手術医学会総会 COI開示

筆頭演者:山近真実

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係  
にある企業などはありません。

## はじめに

2008年  
日本手術医学会「手術医療の実践ガイドライン」でタイムアウトが  
推奨された。同年、誤認手術防止目的でタイムアウトを導入した。

2009年  
WHOにおいて「手術安全チェックリスト」が提唱される。その目標は  
「手術にかかわる不必要な死亡と重大な合併症を最小限にすること」

2012年9月  
「手術の安全を確保するための手順」として「手術安全チェックリスト」  
を導入した。

2019年9月  
チェックリスト導入より、7年経過。手術安全チェック時の様子、看護師  
からの聞き取りなどから、当院のチェックの現状と課題を報告する。

手術安全チェックリスト		旭川医科大学病院手術部
麻酔科管理症例用		(2012年9月)
<b>麻酔導入前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>患者氏名・IDの確認</li> <li>手術同意書の確認</li> <li>麻酔同意書の確認</li> <li>血液製剤使用同意書の確認 ・なし</li> <li>麻酔シールの貼用の確認</li> <li>麻酔器の安全確認の終了</li> <li>使用予定薬剤の準備</li> <li>パルスオキシメーターの設置</li> <li>患者のアレルギーマークの確認と共有 ・なし</li> <li>あり 種別</li> <li>気道確保における問題点の確認と対策の共有 ・なし</li> <li>あり</li> <li>B.シリスクの確認(成人50ml 小児7ml/kg) ・なし</li> <li>あり 静脈路の確認 あり なし                輸血の準備 あり なし</li> </ul>	<b>皮膚切開前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 外科医 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科医確認より</li> <li>チームメンバーの名前・役割の確認 (ホワイトボードに記載されているか確認)</li> <li>必要な画像 ・画像は提示されている ・画像は不潔</li> <li>執刀医(または外科医のいずれか)から</li> <li>患者の名前・予定術式・皮膚切開部位の確認</li> <li>手術予定時間の確認</li> <li>予想される出血量の確認</li> <li>極めて重要・いつもと違う手順の確認</li> <li>麻酔科当直から</li> <li>抗寒剤投与の確認 ・カウントは不潔 ・カウントは不潔</li> <li>外回り看護師と外科医により標準ラベル・ 保存状態・極度の読み上げによる確認</li> <li>対応すべき器材問題の確認</li> <li>患者の目覚めと管理についての主たる緊急事項 の確認と共有</li> </ul>	<b>麻酔入室前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 外科医 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>手術式名の確認</li> <li>ガーゼカウントの実施 ・実施済</li> <li>ガーゼカウントは不潔</li> <li>器械カウントの実施 ・実施済</li> <li>器械カウントは不潔</li> <li>術野で使用した材料のカウントの実施 ・実施済</li> <li>カウントは不潔</li> <li>外回り看護師と外科医により標準ラベル・ 保存状態・極度の読み上げによる確認</li> <li>対応すべき器材問題の確認</li> <li>患者の目覚めと管理についての主たる緊急事項 の確認と共有</li> </ul>

手術安全チェックリスト		旭川医科大学病院手術部
麻酔科管理症例用		(2012年9月)
<b>麻酔導入前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>患者氏名・IDの確認</li> <li>手術同意書の確認</li> <li>麻酔同意書の確認</li> <li>血液製剤使用同意書の確認 ・なし</li> <li>麻酔シールの貼用の確認</li> <li>麻酔器の安全確認の終了</li> <li>使用予定薬剤の準備</li> <li>パルスオキシメーターの設置</li> <li>患者のアレルギーマークの確認と共有 ・なし</li> <li>あり 種別</li> <li>気道確保における問題点の確認と対策の共有 ・なし</li> <li>あり</li> <li>B.シリスクの確認(成人50ml 小児7ml/kg) ・なし</li> <li>あり 静脈路の確認 あり なし                輸血の準備 あり なし</li> </ul>	<b>皮膚切開前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 外科医 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科医確認より</li> <li>チームメンバーの名前・役割の確認 (ホワイトボードに記載されているか確認)</li> <li>必要な画像 ・画像は提示されている ・画像は不潔</li> <li>執刀医(または外科医のいずれか)から</li> <li>患者の名前・予定術式・皮膚切開部位の確認</li> <li>手術予定時間の確認</li> <li>予想される出血量の確認</li> <li>極めて重要・いつもと違う手順の確認</li> <li>麻酔科当直から</li> <li>抗寒剤投与の確認 ・カウントは不潔 ・カウントは不潔</li> <li>外回り看護師と外科医により標準ラベル・ 保存状態・極度の読み上げによる確認</li> <li>対応すべき器材問題の確認</li> <li>患者の目覚めと管理についての主たる緊急事項 の確認と共有</li> </ul>	<b>麻酔入室前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 外科医 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>手術式名の確認</li> <li>ガーゼカウントの実施 ・実施済</li> <li>ガーゼカウントは不潔</li> <li>器械カウントの実施 ・実施済</li> <li>器械カウントは不潔</li> <li>術野で使用した材料のカウントの実施 ・実施済</li> <li>カウントは不潔</li> <li>外回り看護師と外科医により標準ラベル・ 保存状態・極度の読み上げによる確認</li> <li>対応すべき器材問題の確認</li> <li>患者の目覚めと管理についての主たる緊急事項 の確認と共有</li> </ul>

手術安全チェックリスト		旭川医科大学病院手術部
麻酔科管理症例用		(2012年9月)
<b>麻酔導入前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>患者氏名・IDの確認</li> <li>手術同意書の確認</li> <li>麻酔同意書の確認</li> <li>血液製剤使用同意書の確認 ・なし</li> <li>麻酔シールの貼用の確認</li> <li>麻酔器の安全確認の終了</li> <li>使用予定薬剤の準備</li> <li>パルスオキシメーターの設置</li> <li>患者のアレルギーマークの確認と共有 ・なし</li> <li>あり 種別</li> <li>気道確保における問題点の確認と対策の共有 ・なし</li> <li>あり</li> <li>B.シリスクの確認(成人50ml 小児7ml/kg) ・なし</li> <li>あり 静脈路の確認 あり なし                輸血の準備 あり なし</li> </ul>	<b>皮膚切開前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 外科医 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科医確認より</li> <li>チームメンバーの名前・役割の確認 (ホワイトボードに記載されているか確認)</li> <li>必要な画像 ・画像は提示されている ・画像は不潔</li> <li>執刀医(または外科医のいずれか)から</li> <li>患者の名前・予定術式・皮膚切開部位の確認</li> <li>手術予定時間の確認</li> <li>予想される出血量の確認</li> <li>極めて重要・いつもと違う手順の確認</li> <li>麻酔科当直から</li> <li>抗寒剤投与の確認 ・カウントは不潔 ・カウントは不潔</li> <li>外回り看護師と外科医により標準ラベル・ 保存状態・極度の読み上げによる確認</li> <li>対応すべき器材問題の確認</li> <li>患者の目覚めと管理についての主たる緊急事項 の確認と共有</li> </ul>	<b>麻酔入室前チェック項目</b> 実施者 麻酔科当直 外科医 看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>手術式名の確認</li> <li>ガーゼカウントの実施 ・実施済</li> <li>ガーゼカウントは不潔</li> <li>器械カウントの実施 ・実施済</li> <li>器械カウントは不潔</li> <li>術野で使用した材料のカウントの実施 ・実施済</li> <li>カウントは不潔</li> <li>外回り看護師と外科医により標準ラベル・ 保存状態・極度の読み上げによる確認</li> <li>対応すべき器材問題の確認</li> <li>患者の目覚めと管理についての主たる緊急事項 の確認と共有</li> </ul>

手術安全チェックリスト		旭川医科大学病院手術部
麻酔科管理症例用		(2012年9月)
<b>麻酔導入前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 看護師	<b>皮膚切開前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 外科医 看護師	<b>患者入室前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 外科医 看護師
<input type="checkbox"/> 患者氏名、IDの確認 <input type="checkbox"/> 手術同意書の確認 <input type="checkbox"/> 麻酔同意書の確認 <input type="checkbox"/> 血液製剤使用同意書の確認 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> 部位シールの貼用の確認 <input type="checkbox"/> 麻酔器の安全確認の終了 <input type="checkbox"/> 使用予定薬剤の確認 <input type="checkbox"/> パルスオキシメーターの設置 <input type="checkbox"/> 患者のアレルギーマークの確認と共有 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> 気道確保における問題点の確認と対策の共有 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> B.リスクの確認(成人 50ml 小児 7ml/kg) ・なし ・あり 静脈路の確認 あり なし 輸血の準備 あり なし	<b>外回り看護師より</b> <input type="checkbox"/> チームメンバーの名前、役割の確認 (ホワイトボードに記載されているか確認) <input type="checkbox"/> 必要な画像 ・画像は提示されている ・画像は不斉 <b>執刀医(または外科医のいずれか)から</b> <input type="checkbox"/> 患者の名前、予定術式、皮膚切開部位の確認 <input type="checkbox"/> 手術予定時間の確認 <input type="checkbox"/> 予想される出血量の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <b>麻酔科医師から</b> <input type="checkbox"/> 抗悪露投与の確認 ・抗刀開始 90分以内に投与 ・抗悪露の投与はない <input type="checkbox"/> 麻酔管理において患者に特有の問題点の確認 <b>器械出し看護師から</b> <input type="checkbox"/> 減悪インジケータの確認 <input type="checkbox"/> 器材に関する問題点の有無と確認	<input type="checkbox"/> 手術式名の確認 <input type="checkbox"/> ガーゼカウムの実施 ・実施済 ・ガーゼカウムの不斉 <input type="checkbox"/> 器械カウムの実施 ・実施済 ・器械カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 針カウムの実施 ・実施済 <input type="checkbox"/> 針カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 視野で使用した材料のカウムの実施 ・実施済 ・カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 外回り看護師と外科医により標準ラベル・保存状態・個数の読み上げによる確認 <input type="checkbox"/> 対応すべき器材問題の確認 <input type="checkbox"/> 患者の回復と管理についてのまとめた懸念事項の確認と共有

手術安全チェックリスト		旭川医科大学病院手術部
麻酔科管理症例用		(2012年9月)
<b>麻酔導入前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 看護師	<b>皮膚切開前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 外科医 看護師	<b>患者入室前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 外科医 看護師
<input type="checkbox"/> 患者氏名、IDの確認 <input type="checkbox"/> 手術同意書の確認 <input type="checkbox"/> 麻酔同意書の確認 <input type="checkbox"/> 血液製剤使用同意書の確認 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> 部位シールの貼用の確認 <input type="checkbox"/> 麻酔器の安全確認の終了 <input type="checkbox"/> 使用予定薬剤の確認 <input type="checkbox"/> パルスオキシメーターの設置 <input type="checkbox"/> 患者のアレルギーマークの確認と共有 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> 気道確保における問題点の確認と対策の共有 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> B.リスクの確認(成人 50ml 小児 7ml/kg) ・なし ・あり 静脈路の確認 あり なし 輸血の準備 あり なし	<b>外回り看護師より</b> <input type="checkbox"/> チームメンバーの名前、役割の確認 (ホワイトボードに記載されているか確認) <input type="checkbox"/> 必要な画像 ・画像は提示されている ・画像は不斉 <b>執刀医(または外科医のいずれか)から</b> <input type="checkbox"/> 患者の名前、予定術式、皮膚切開部位の確認 <input type="checkbox"/> 手術予定時間の確認 <input type="checkbox"/> 予想される出血量の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <b>麻酔科医師から</b> <input type="checkbox"/> 抗悪露投与の確認 ・抗刀開始 90分以内に投与 ・抗悪露の投与はない <input type="checkbox"/> 麻酔管理において患者に特有の問題点の確認 <b>器械出し看護師から</b> <input type="checkbox"/> 減悪インジケータの確認 <input type="checkbox"/> 器材に関する問題点の有無と確認	<input type="checkbox"/> 手術式名の確認 <input type="checkbox"/> ガーゼカウムの実施 ・実施済 ・ガーゼカウムの不斉 <input type="checkbox"/> 器械カウムの実施 ・実施済 ・器械カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 針カウムの実施 ・実施済 <input type="checkbox"/> 針カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 視野で使用した材料のカウムの実施 ・実施済 ・カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 外回り看護師と外科医により標準ラベル・保存状態・個数の読み上げによる確認 <input type="checkbox"/> 対応すべき器材問題の確認 <input type="checkbox"/> 患者の回復と管理についてのまとめた懸念事項の確認と共有

## 手術安全チェックリストの良い面

手術安全チェックを実施することが常となっている。



## 手術安全チェックリストの課題

- 場面により、チェックの精度が異なる
  - チェックの実施者
  - チェックする状況、タイミング
  - チェックを実施するチームメンバー間の連携
- チェック項目毎の精度が異なる
  - 項目の記載されている表現による解釈

手術安全チェックリスト		旭川医科大学病院手術部
麻酔科管理症例用		(2012年9月)
<b>麻酔導入前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 看護師	<b>皮膚切開前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 外科医 看護師	<b>患者入室前チェック項目</b> 実施者 麻酔科医師 外科医 看護師
<input type="checkbox"/> 患者氏名、IDの確認 <input type="checkbox"/> 手術同意書の確認 <input type="checkbox"/> 麻酔同意書の確認 <input type="checkbox"/> 血液製剤使用同意書の確認 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> 部位シールの貼用の確認 <input type="checkbox"/> 麻酔器の安全確認の終了 <input type="checkbox"/> 使用予定薬剤の確認 <input type="checkbox"/> パルスオキシメーターの設置 <input type="checkbox"/> 患者のアレルギーマークの確認と共有 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> 気道確保における問題点の確認と対策の共有 ・なし ・あり <input type="checkbox"/> B.リスクの確認(成人 50ml 小児 7ml/kg) ・なし ・あり 静脈路の確認 あり なし 輸血の準備 あり なし	<b>外回り看護師より</b> <input type="checkbox"/> チームメンバーの名前、役割の確認 (ホワイトボードに記載されているか確認) <input type="checkbox"/> 必要な画像 ・画像は提示されている ・画像は不斉 <b>執刀医(または外科医のいずれか)から</b> <input type="checkbox"/> 患者の名前、予定術式、皮膚切開部位の確認 <input type="checkbox"/> 手術予定時間の確認 <input type="checkbox"/> 予想される出血量の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <input type="checkbox"/> 痛む点、いつもと違う手術の確認 <b>麻酔科医師から</b> <input type="checkbox"/> 抗悪露投与の確認 ・抗刀開始 90分以内に投与 ・抗悪露の投与はない <input type="checkbox"/> 麻酔管理において患者に特有の問題点の確認 <b>器械出し看護師から</b> <input type="checkbox"/> 減悪インジケータの確認 <input type="checkbox"/> 器材に関する問題点の有無と確認	<input type="checkbox"/> 手術式名の確認 <input type="checkbox"/> ガーゼカウムの実施 ・実施済 ・ガーゼカウムの不斉 <input type="checkbox"/> 器械カウムの実施 ・実施済 ・器械カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 針カウムの実施 ・実施済 <input type="checkbox"/> 針カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 視野で使用した材料のカウムの実施 ・実施済 ・カウムの不斉 <input type="checkbox"/> 外回り看護師と外科医により標準ラベル・保存状態・個数の読み上げによる確認 <input type="checkbox"/> 対応すべき器材問題の確認 <input type="checkbox"/> 患者の回復と管理についてのまとめた懸念事項の確認と共有

## 手術安全チェックリストの改善策

1. チェックに関する行動指針を出す
  - 1) 実施者やチームの連携のあり方
  - 2) 状況の違いによる実施方法の検討
  - 3) チェック項目の具体的な確認方法
2. 手術チーム全員に対し、チェック場面の評価とフィードバック
3. 安全チェックの指導・教育・普及啓発
  - ・講義などの研修
  - ・映像による手術安全チェックのあるべき姿をイメージ化する

## 手術安全チェックのあるべき姿を目指して

手術の安全を確保するための手順、ツール

手術チームで患者に関する重要な情報を共有するもの  
チェックを通じて、チームワークの強化するもの

そのため、

・一旦手を止めて、チェックに集中する

→ 重要なことは2つ同時にできない、優先順位の選定

→ しかし、超緊急手術の場合は、限定する必要がある

・どのようなメンバー配置、状況、タイミングでも一定の水準が担保できるチェック項目の表現・設定が必要である

・チェック項目ひとつひとつの精度が高いことが求められる

したがって、

手術安全チェックの定期的な保守・点検、普及啓発